

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	火災警報装置・スプリンクラー設置により、防災訓練(年2回)の強化し、今後も火災・地震・水害等の防災に備え、入居者様との生活の中で危機意識をもてるように、取り組み、更に地域との連携を強め避難の協力や役割を明確にし協力を依頼する。また備えとして必要な物品の備蓄を確認する。	・災害対策の強化	・防災時の対応方法の研修・訓練の実施 ・更なる消防署との連携 ・地域との連携(訓練への参加) ・備蓄品リストの作成管理	12ヶ月
2	17・18	・現在も入居者様の希望に配慮し、支援を行っていますが今後も一人々に合わせた支援に取り組み入居者様の自分らしい生活の実現のために、できる限り希望に沿った生活の支援ができるよう取り組んでいく。	・入居者様の自分らしい生活の実現	・入居者様が希望などが話しやすい環境場面を作る ・現在の活動を確保しながら、季節や天気を考慮しながら散歩など積極的に戸外へ出かけられるように支援する ・現状以外に入居者様 ・家族様などしっかりとコミュニケーションを図り、馴染みの関係を構築する ・今後も個別に合わせた支援に取り組んでいく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。